

# 地方におけるデータ活用人材の育成について

## ■ 3段階で検討

- ◇地方自治体のデータ活用事例の調査
- ◇地域経済活性化・地域課題解決プロジェクト
- ◇地方自治体職員向け研修

### (1) 地方自治体のデータ活用事例の調査

- ◇地方自治体において政策立案等にデータ分析を活用している事例を調査
- ◇結果を整理し、自治体会員間で共有（自治体を一同に集めたシンポジウム等での発表も検討）
- ◇結果をある程度一般化できれば、オープンデータ活用の知見としても展開

### (2) 地域経済活性化・地域課題解決プロジェクト

- ◇地域経済の活性化・地域課題解決のためにデータを活用する有効性が認識されつつあるが、地方自治体や地場産業団体等においては専門的知識を有する人材のリソース不足が指摘されている。
- ◇地方自治体や地場産業団体等が抱えるデータ活用のニーズを精査し、小規模なプロジェクトを立ち上げることにより、人的リソースを支援。
- ◇プロジェクト実施担当社（社員に限らない）が地域経済の活性化・地域課題の解決に資するデータ活用環境を整備。
- ◇一定の間、整備したデータ活用環境の運用をサポートし、現場の社員・職員で保守ができるような体制を構築。
- ◇結果を整理し、自治体会員間、又は一般向けに共有（上記、自治体合同会議での発表も検討）

# 地方におけるデータ活用人材の育成について

## (3) 地方自治体職員向け研修(職員レベルのスキルアップ)

- ◇データ活用の一般座学（基本知識取得）
  - ◇上記の2策で得られた知見
  - ◇事例等の紹介（データ活用の効果を活かす動機付け）
  - ◇オープンデータ提供・利用のための知識の紹介（ガイドの入門編的介绍）
  - ◇データ分析・活用ルールの紹介（社員提供のツールなどがあれば）
- ▶ これらの内容をカリキュラム化して、自治体向け研修として実施（別途検討の自治体向け研修策に含める案、CIO研修に含める案、VLEDとしてgaccoなどの授業の形で提供する案などを検討）

## ■分科会について

- 「データサイエンティスト資格検討分科会」は「データサイエンティスト人材育成検討分科会」に名称変更した方が良いのではないかと。

## (補足) 地域経済活性化・地域課題解決プロジェクトの検討事項等 (素案)

### 検討事項

- 地域経済の活性化・地域課題の解決に資するデータ活用環境の整備・運用支援。(現在は、ICTベンダーの市場がほとんど存在しないような領域を対象とする。)
- 具体的には、オープンソースの活用によるデータ活用環境の整備や、専門知識を有する人材の派遣など。(その他の検討事項については、委員会での議論を踏まえて決定。)

### スキーム

- 小規模なプロジェクトを立ち上げ、地方自治体や地場産業団体等に専門知識を有する人材を派遣。
- プロジェクト実施担当社が地域経済の活性化・地域課題の解決に資するデータ活用環境を整備。
- 一定の間、整備したデータ活用環境の運用をサポートし、現場の社員・職員で保守ができるような体制を構築。

### アウトプット例

- 水道の閉栓情報を利用した空き家分析システム(草加市) 等

## (補足) 地方自治体職員向け研修

- ・ 地方自治体職員を対象とした「データを使う」「データを作る」ことを取得する研修プログラム。
- ・ ワークショップ／ハンズオン形式のプログラムとし、研修用の情報流通連携基盤（実験版）を用意・活用することも考えられる。
- ・ 一般向けのシンポジウム等と併催することも考えられる。
- ・ まずは試行的に開催し、将来的には、総合通信局等の協力を得て、全国の主要都市で開催することも考えられる。

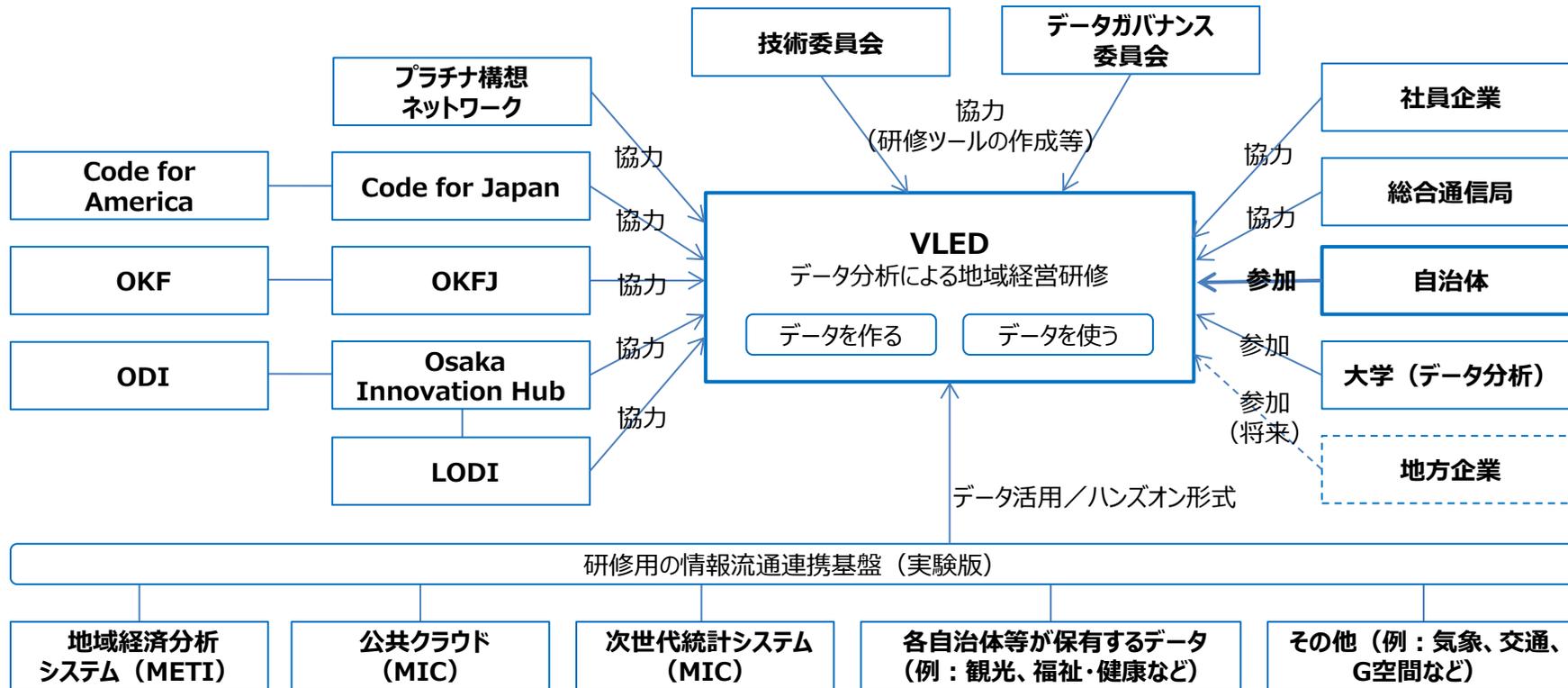


図 自治体向け研修のイメージ (案)